

インクルーシブの窓

令和7年6月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



教師の「ファシリテーション能力」について考えましょう！



令和3年1月に、文部科学省中央教育審議会により『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」が公表されたことは、ご存知のことでしょう。

その中で、教師に求められる資質・能力として、次のことが挙げられています。

例えば、使命感や責任感、教育的愛情、教科や教職に関する専門的知識、実践的指導力、総合的人間力、コミュニケーション能力、ファシリテーション能力など

ここに、「ファシリテーション」という言葉が初めて示されたのです。ファシリテーション（facilitation）は、人々の活動が容易に、うまく進むよう支援するイメージをもっておられる方も多いことでしょう。ビジネスの世界では以前から注目されている考え方で、書店で参考書籍がまとめて並べられているのを見ることができます。

では、私たちに求められるファシリテーション能力とはどのようなことなのでしょうか？

令和3年8月には中教審「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会（第3回）において、教師に求められる資質能力の再整理が行われ、ファシリテーション能力が特に発揮される主な場面として、次のように示されています。

教師同士の相互作用

連携協働した問題解決

校内研修 授業研究

教師と子供の相互作用 子供同士の相互作用

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、子供同士の考えをつなぎ、子供とともに創造する授業実践

多様な子供一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくり（学級経営）

ICTを活用した授業デザインやきめ細かな指導・支援

ファシリテーションを担うファシリテーターは、教師、子供が「本来もっていた力を引き出し、相互にかけ合わせることで増幅し、集団の力を最大限に高めていく」（同部会資料より）役割を担うのです。